

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要（令和5年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ3階

2 設立年月日

平成2年7月25日

3 代表者

理事長 福原 公子

4 基本財産

300,000 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	12 人	2 人	0 人	10 人

7 市からのミッション

- ① 外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。
- ② 行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。
- ③ 世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う。国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。

II 令和4年度事業実績

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3(2021)年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

令和4(2022)年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを見せる中で、オンラインによる日本語教室の開催、基本的な感染対策を講じた多文化共生事業の実施、協会ホームページの全面リニューアルを行ったほか、高城外国人材活躍支援資金等（寄附金）を活用し、

留学生の地元就職支援などを行った。

また、ウクライナ避難民受入のため、「ウクライナ避難民相談窓口」を設置し、相談対応や関係機関との連携による支援を行った。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民への相談対応

ア 多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの相談

○八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大 22 言語の相談に対応した。

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」が関係機関と連携し、長期的なフォローを行った。

○「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談は、日本語コーディネーターが外国語相談員と連携して対応した。

対応日時：月曜日～金曜日 9：30～16：00

相談者数：969 人 相談件数：1,140 件

○相談通訳コーディネーターが通訳者の育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援を行った。

※コミュニティ通訳派遣（市の委託事業）

対応件数：198 件（内派遣件数 51 件）

言語別件数：英語 106 件、中国語 45 件、ベトナム語 38 件、インドネシア語 3 件、タイ語 3 件、タガログ語 1 件、ネパール語 1 件、モンゴル語 1 件

内容別件数：区役所（行政手続）関係 131 件、子育て支援（子ども関係）30 件、子育て支援（母親関係）12 件、保健所業務 3 件、その他 22 件

※医療通訳派遣（協会の法人賛助会員は無料）

派遣件数：8 件

言語別件数：英語 3 件、中国語 5 件

診療科別件数：消化器内科 1 件、内科 6 件、産婦人科 2 件、循環器科 1 件、皮膚科 1 件、眼科 5 件（複数科受診を含む）

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門相談会を実施した。

○行政書士による「入国・在留・ビザ手続きの相談会」 1 回/月 相談件数：37 件

○弁護士による「法律相談」 1 回/月 相談件数：15 件

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 2 回/年 相談件数：2 件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日：9 月 30 日（西日本総合展示場）

参加者 37 人

3月2日（子どもの館 子どもホール） 参加者 35人

出席機関：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国在留管理局、北九州市（国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等）

エ ウクライナ避難民相談窓口による相談・支援

令和4（2022）年3月にウクライナ避難民相談窓口を設置し、行政機関や支援機関と連携しながら北九州市に避難してきた避難民6人に対し、相談対応や情報提供など必要な支援を行った。

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したリニューアル後のホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。リニューアル前に比べてホームページアクセス件数が約5.9倍に増えた。

※ホームページアクセス件数

日本語 173,992件、英語 12,672件、中国語 5,652件、韓国語 2,533件

ベトナム語 3,074件、やさしい日本語 3,287件 合計 201,210件

イ 「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」の作成（市の委託事業）

市との協定に基づき大規模災害発生時に開設する「北九州市災害多言語支援センター」の運営マニュアルの素案を昨年度に作成しており、そのマニュアルを基に訓練を行った。訓練の監修には、災害時外国人支援のパイオニアである田村太郎氏を招いて、外国人支援や災害多言語支援センター運営を円滑に行う為のアドバイスをいただき、訓練で気づいた内容も整理して、マニュアルを策定した。

(3) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人や外国人児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は、ICTを活用しオンライン形式で教室を開催した。

(ア) 外国人生活者支援

○「ママとパパのための日本語教室」(オンライン)

開催期間：5月12日～3月9日（毎週木・金曜日 10:30～12:00）

開催回数：59回 登録学習者数：76人

学習者の国籍：インドネシア、中国、パキスタン、ベトナム、韓国、バングラデシュ、タイ、ハンガリー、香港、フィリピン、ドミニカ共和国、シンガポール、ネパール、モンゴル、ウクライナ、カザフスタン、パレスチナ、イラン、フランス、ナイジェリア、ケニア、インド、カメルーン

※9月以降、同教室で新たに漢字学習を補講として行った。

○「はじめてのにはongo」(オンライン)

開催期間：5月17日～3月7日（毎週火曜日 9:30～12:00）

開催回数：30回 登録学習者数：76人

学習者の国籍：パキスタン、中国、モンゴル、香港、カザフスタン、インドネシア、ベトナム、フィリピン、ネパール、イラン、タイ

※9月以降、同教室で新たに漢字学習を補講として行った。

(イ)「にほんごひろば」(オンライン):外国人子ども支援(児童生徒を対象にした日本語教室)

開催期間:4月23日~3月18日(毎週土曜日 10:30~11:30)

開催回数:32回 登録学習者数:17人 登録ボランティア数:20人

学習者の国籍:中国、モンゴル、インドネシア、香港、ベトナム、イラン、フィリピン

(ウ)「中上級のための日本語教室」(オンライン)

開催期間:令和4年3月8日~12月3日(毎週火・木・土曜日)

開催回数:115回 登録学習者数:21人(うち人材バンクへの登録:3人)

学習者の国籍:タイ、ベトナム、中国、ネパール、韓国、米国、フィリピン

(エ)日本人と外国人のための日本語交流会(全5回)

市内在住の日本人と外国人が日本語を使って交流を行った。

開催日:①17月22日 参加者数:28人(日本人13人、外国人15人)

②11月26日 参加者数:23人(日本人9人、外国人14人)

③12月16日 参加者数:15人(日本人4人、外国人11人)

④12月18日 参加者数:8人(日本人4人、外国人4人)

⑤13月13日 参加者数:16人(日本人8人、外国人8人)

場 所:①② 北九州国際交流協会 ③④⑤オンライン

イ 地域日本語教室との連携

(ア)地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している13の教室・団体の課題や問題点の把握に努めるとともに必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室11教室に対して運営資金の一部を助成(59万円)

○教室の活動状況アンケート(隔月)

○ボランティア向け研修会の開催

①テーマ:すぐに使える漢字学習のヒント ~暮らしの文字の習得を目指して~

開催日:10月22日

場所:西日本総合展示場

参加者数:22人

講師:一般財団法人ダイバーシティ研究所「生活の漢字を考える会」

新矢 麻紀子氏(大阪産業大学 国際学部教授)

新庄 あいみ氏(大阪大学 非常勤講師)

②テーマ:地域日本語教室で学んだ外国人の話聞く会

開催日:2月25日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:21人

講師:キム サニ氏、趙 丹氏、チャン テ ヴィン氏、耿 贈朝氏

○地域日本語教室との意見交換会

開催日:7月18日

場所:北九州国際交流協会

参加者数:12教室の代表者・メンバー計14人

(イ) 空白地域の解消に向けた取組

日本語教室の空白地域である門司区において外国人を雇用している企業や外国人就労者等の現地聞き取りや情報収集を行い、日本語教室のあり方を検討した。

教室での学習支援を行うボランティア向け日本語教室準備講座を企画して、ボランティアを募集した。

聞き取り調査対象企業：28社

ボランティア申込者数：36人

準備講座会場：門司生涯学習センター大里分館

※準備講座は令和5(2023)年4月に開講(4回)

(ウ) 日本語スピーチコンテストの開催

「留学生日本語弁論大会」と「日本語おしゃべり発表会」をそれぞれ第一部・第二部とした「日本語スピーチコンテスト」を実施した。

外国人留学生や日本語教室の学習者、技能実習生等に、日本語でスピーチする機会を提供することで、日本語学習意欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進につながった。

開催日：1月9日

場所：北九州芸術劇場 中劇場

発表者数：29人(中国11人、インドネシア8人、韓国2人、インド2人、ベトナム1人、アメリカ1人、ネパール1人、ジャマイカ1人、日本1人、モンゴル1人)

来場者数：133人

ウ 外国人受入企業の支援

市内の監理団体や登録支援機関等の担当者に話を聞き、技能実習生等のニーズの把握に努めた。就労者への日本語学習支援については関連機関との連絡体制を整え、外国人就労者への学習だけではなく受け入れ企業側の社員に向けての研修についても検討した。また、関係団体へ協会の取組を紹介した結果、市内企業9社から相談を受けたが、企業への講師派遣までは至らなかった。

○「日本語教育プログラム」(外国人就労者受入向け)簡易チラシの配布

配布先：北九州市内の監理団体及び福岡出入国在留管理局北九州出張所、JETRO、
窓口での相談企業など合計20社

※「福岡県外国人材受入対策協議会」「北九州都市圏域会議」等でも紹介

○外国人就労者に関わる地域日本語学習支援者・日本語教師のための講話の開催

地域日本語学習支援者、日本語教師を中心にベトナム人技能実習生の入国前・入国後の生活や日本語学習・課題についての講話を聴いた。

テーマ：ベトナム人技能実習生への日本語学習支援

～3つの視点から語るここだけの話～

開催日：4月30日

場所：オンライン

参加者数：26人

講師：杉原 賢治氏(NPO法人にほんごコミュニティ 代表)

- 「北九州市内の企業と監理団体・登録支援機関をつなぐ合同相談会」への出展
 その他団体として出展し、参加団体等と情報交換を行った。
 出展日：10月18日
 場所：西日本総合展示場
 参加監理団体・登録支援機関：23社
- 福岡県外国人技能実習生受入組合連絡協議会との情報交換
 開催日：12月14日
 場 所：国際マネジメント福岡協同組合
- エ 北九州市における地域日本語教室のあり方についての検討会議
 外国人市民のうち特に就労者に対する日本語教育について関係団体と意見交換を行った。
 開催日：2月4日
 場 所：子どもの館 パーティールーム
 出席者数：14人（北九州ベトナム人協会、北九州ムスリム会、北九州市雇用政策課等）

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 外国人材の発掘・情報収集

外国人の視点から地域の魅力を発信できる人材の発掘・情報を収集し、人材登録に向けた準備を行った。

○多文化共生事例調査事業（市の委託事業）

市内における多文化共生に関する好事例について調査・考察を行い、報告書をまとめた。

調査対象：一般社団法人北九州ムスリム会と若松区二島地区

(2) 留学生支援

ア 地元企業への就職等促進

(ア) 市内進学者奨励金給付（留学生等支援資金の活用）

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関（専門学校、大学）に進学した留学生を対象に、申請のあった市内に住民登録を有する留学生全員（75人）に奨励金2万円を交付した。

(イ) 市内企業就職者奨励金（高城外国人材活躍支援資金の活用）

北九州市内の大学や日本語学校及び専門学校を卒業し、市内に本社または事業所を有する企業に就職し、市内に住民登録を有する留学生（53人）に5万円を支給した

イ 関原大連市留学生奨学金給付（関原北九州大連友好基金の活用）

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、北九州市立大学大学院、九州工業大学大学院、早稲田大学大学院に通う留学生（4人）に、月額2万円（年額24万円）を支給した。

ウ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した（北九州市立大学等計5回）。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 人材バンク・協会ボランティア登録の推進

ボランティアと人材バンクの運用ルールとして定めていた、「北九州国際交流ボランティア要

綱」と「公益財団法人北九州国際交流協会多文化共生人材バンク制度要綱」を廃止し、新たに「KIA人材バンク要綱」を定め、運用を7月1日から開始した。既存の人材バンク登録者及びボランティアを新登録分野毎に整理し、新規登録を進めると共に人材の活用を図った。

(登録状況3月31日現在)

<人材バンク>

- 翻訳サポーター(協会や市からの依頼により翻訳を行う):4人
- 日本語教育サポーター(日本語学習の指導を行う):7人
- 文化紹介サポーター(多文化共生や国際理解推進のための講演や研修を行う):18人
- 外国語相談サポーター(協会窓口で相談対応や翻訳を行う):5人

<協会ボランティア(言語内訳は重複あり)>

- 行政通訳ボランティア:85人 ※うち災害時通訳サポーターとして69人登録
中国語29人、英語17人、ベトナム語10人、韓国語7人、インドネシア語5人、
タガログ語5人、ネパール語5人、タイ語4人、ロシア語3人、モンゴル語2人、
ウクライナ語2人、ドイツ語1人
- 医療通訳ボランティア:41人
中国語22人、英語13人、韓国語5人、ベトナム語1人
- 専門家相談通訳ボランティア:9人
- 交流ボランティアファミリー:45家庭
- 日本語教育ボランティア:20人

(2) 自主防災組織等への参画促進(市の委託事業)

ア 外国人市民のための防災研修会

開催日:11月25日

場所:北九州市消防局八幡西消防署

参加者数:18人

日本語教室学習者、キーネット・日本語教室関係者、八幡西警察署職員、
協会職員

講師:八幡西消防署予防課 阿部優喜 主任消防士長

内容:地震体験、消火器の使い方体験、緊急時や急病時の対応の講義、消防士による
救急救命措置デモンストレーション

イ 災害時通訳サポーター等を対象とした研修

開催日:12月16日

場所:八幡西区役所509会議室

参加者数:64人

災害時通訳サポーター、北九州市関係部署職員、北九州イスラム文化交流セン
ター員、多文化共生マネージャー、福岡出入国管理局職員、市内警察署員、地
域日本語教室関係者、協会職員 等

講師:一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎氏

内容:災害時の外国人支援、災害多言語支援センターについての講義

※総務省主催の「災害時外国人支援情報コーディネーター」養成研修へ協会職員2人が
参加した。

(3) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット：加盟 60 団体）の事務局支援

総 会：6 月 11 日（子どもの館 子どもホール）

役員会：4 回開催

研修会：2 回開催

①テーマ：小倉メモリアルクロスの記憶

開催日：6 月 11 日

場所：子どもの館 子どもホール

参加者数：33 人

②テーマ：国際NGO カリブーニ ひまわりの会 27 年の軌跡

開催日：3 月 18 日

場所：子どもの館 子どもホール

参加者数：40 人

パネル展：10 月 3 日～17 日（ひとみらいプレイス） 参加団体数：14 団体

(イ) 民間団体の活動支援

○多文化共生の地域づくりに取り組む団体に対して事業経費の一部助成

助成団体：3 団体

①二時の会

助成金額：69,764 円

②子どもに能楽を勧める会

助成金額：100,000 円

③学研ボランティアの会

助成金額：100,000 円

○事業の共催、後援及び広報支援等

共催：2 件 後援：7 件

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等をして、小・中・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

派遣した市内の学校数及び講師数：12 校 30 人

(イ) 協会職員の講師派遣

小学校、高校や大学に講師を派遣し、自国の生活や文化等の紹介について講義を行った。

○国際理解推進員（派遣回数 5 回）

6 月 23 日 光貞小学校「シンガポールの文化や伝統、生活習慣について学ぼう」

10 月 27 日 筒井小学校「韓国の生活や文化について」

12 月 1 日 ひびき高校「様々な国について知ろう！」

12 月 8 日 光貞小学校「6/23 の話から学んだことを発表しよう」

1 月 25 日 北九州市立大学「異文化理解教育」

○外国人支援主任（多文化ソーシャルワーカー）（派遣回数 10 回）

7 月 7 日 全国市町村国際文化研修所「多文化共生の実践コース」

7 月 27 日 出入国在留管理庁「地方公共団体職員外国人施策推進研修」

8 月 9 日 全国市町村国際文化研修所「外国人相談窓口の運営」

9 月 13 日 西南女学院大学「グローバル社会と地域母子保健」

- 11月17日 宇佐市・北九州国際交流協会「外国人相談窓口研修」
- 12月5日 出入国在留管理庁「総合的な支援をコーディネートする人材の役割等に関する検討会（第2回）」事例報告
- 12月22日 福岡出入国在留管理局「外国人相談窓口連絡会・相談対応のスキルアップⅠ」
- 2月8日 佐賀県国際交流協会「相談員研修」
- 2月23日 宇佐市「相談員研修」
- 3月10日 福岡出入国在留管理局「外国人相談窓口連絡会・相談対応のスキルアップⅡ」

○地域日本語教育総括コーディネーター（派遣回数 5回）

- 7月30日 山口県国際交流協会「学習支援者情報交換会」
- 10月21日 多文化社会専門職機構「地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修」
- 10月29日 山口県国際交流協会「やさしい日本語講座（下関市）」
- 12月19日 長野県「ANADO 大忘年会！」
- 1月25日 朝日大学他「ANADO カードプレイを通じた海外につながる子ども達支援者研修」

○日本語コーディネーター（派遣回数4回）

- 10月21日 小倉北区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
- 10月26日 八幡西区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
- 11月14日 若松区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
- 3月15日 北九州市内の保育所（園）、認定こども園、地域型保育事業所の職員「社会福祉研修所やさしい日本語研修」（オンライン）

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や交流会、交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の地域づくりを推進した。

（ア）英語で語る自分の国

開催回数：4回	参加者数：80人	場所：北九州国際交流協会
6月4日	台湾	19人
8月6日	ジンバブエ	20人
10月1日	ソロモン諸島	18人
2月4日	イラン	23人

（イ）多文化共生啓発

外国人市民と日本人が相互理解を深める交流会を開催した。

○レッツ トーク！☆

開催回数：3回	参加者数：58人	場所：北九州国際交流協会
7月23日	20人（内8人外国人）	
12月3日	19人（内8人外国人）	
3月4日	19人（内7人外国人）	

○留学生と日本人の交流会

開催回数：2回	参加者数：56人	場所：北九州国際交流協会
---------	----------	--------------

6月18日 留学生9人、交流ボランティアファミリー9家族20人

12月17日 留学生9人、交流ボランティアファミリー7家族18人

(ウ) 多文化共生交流事業（市の委託事業）

○外国人市民への図書館ガイドツアーを開催した。

開催日：11月3日

場所：北九州市立中央図書館

参加者数：17人（全員外国人）

○外国人市民と地域住民とのスポーツ交流会を開催した。

開催日：11月20日

場所：門司生涯学習センター大里分館

参加者数：51人（内19人外国人）

(エ) グローバル人材育成事業（市の委託事業）

○私たちの国、案内します。

北九州市在住のモロッコ・タイの外国人市民がガイドとなり、ミニ外国語講座を挟みながら自国の文化や習慣、観光地の紹介を行った。

開催日：8月20日

場所：北九州市立子どもの館 子どもホール

講師：モムニ・ファード氏（モロッコ）

ポッチャラ・ケアオジャントク氏（タイ）

ワサラック・ボンソウトーン氏（タイ）

参加者数：40人

○世界のレシピ～ベトナム編～

北九州市在住のベトナム人が講師となり、途中クイズなどを通して参加者との交流も行いながら本場のベトナム料理を作る様子を生配信した。

開催日：9月3日

場所：オンライン

講師：ルオン ティ マイ氏（北九州国際交流協会 外国語相談員）

参加者数：15人

○国際交流まつり 2022

ママパパ日本語教室参加者をはじめとした外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーや発表、外国人フォトコンテスト等を行った。

開催日：10月15日、16日

場所：北九州国際交流協会

出品国：4カ国 7ブース

来場者数：約370人

(オ) 多文化共生の担い手育成

○コミュニティ通訳者スキルアップ研修（協会事業を支える人材育成）

開催日：3月18日

場所：八幡西生涯学習センター202会議室

講師：日本公共通訳支援協会 通訳ロールプレイ講師 飯田 まどか氏

参加者数：17人

○インターンシップ実習生の受入

北九州市からの依頼と協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生：北九州市立大学外国語学部国際関係学科 2～3年生 3人

鹿児島大学法文学部法経社会学科 3年生 1人 計4人

実習期間：9月1日～3日 3日間

実習内容：協会事業の学習、日本語教室のアシスタント体験（オンライン）、外国語相談員との意見交換、イベント企画発表 等

《 協会の広報活動 》

○ホームページ等による広報（再掲）

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したリニューアル後のホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

○北九州市が発行する市政だよりに、協会事業やイベント情報の掲載（38件）

○メールマガジンによる情報提供（月2回）

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信（メールマガジン登録者数：560人）

○日本語教室やワンストップインフォメーションPRパンフレットの作成・配布（多言語対応）

○「ボランティアウィーク 2022（社会福祉協議会）」での協会事業の紹介（スライド映像）

出展日：10月16日～22日

場所：ウェルとばた

○「多文化共生わいわい祭り（北九州YMCAとの共催）」への出展

出展日：11月3日

場所：北九州YMCA

出展内容：外国人フォトコンテスト作品の展示

Ⅲ 令和4年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和5年3月31日現在(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,688,250	10,376,077	▲2,687,827
未収金	1,563,200	2,011,900	▲448,700
前払費用	19,000	17,500	1,500
流動資産合計	9,270,450	12,405,477	▲3,135,027
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	299,947,800	300,000,000	▲52,200
定期預金	200	0	200
普通預金	52,000	0	52,000
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	36,608,799	38,421,808	▲1,813,009
外国人材活躍支援資金積立資産	13,049,255	11,300,000	1,749,255
特定資産合計	49,658,054	49,721,808	▲63,754
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,039,599	1,611,222	▲571,623
投資有価証券	0	13,374,200	▲13,374,200
その他固定資産合計	1,039,600	14,985,423	▲13,945,823
固定資産合計	350,697,654	364,707,231	▲14,009,577
資産合計	359,968,104	377,112,708	▲17,144,604
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,897,767	5,586,832	▲3,689,065
預り金	564,011	564,460	▲449
流動負債合計	2,461,778	6,151,292	▲3,689,514
負債合計	2,461,778	6,151,292	▲3,689,514
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	149,658,054	149,721,808	▲63,754
指定正味財産合計	149,658,054	149,721,808	▲63,754
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(49,658,054)	(49,721,808)	(▲63,754)
2. 一般正味財産	207,848,272	221,239,608	▲13,391,336
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	357,506,326	370,961,416	▲13,455,090
負債及び正味財産合計	359,968,104	377,112,708	▲17,144,604

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,308,244]	[2,308,244]	[0]
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	[1,113]	[526]	[587]
特定資産受取利息	1,113	526	587
受取会費	[555,000]	[609,000]	[▲54,000]
受取賛助会費	555,000	609,000	▲54,000
事業収益	[2,501,120]	[2,362,525]	[138,595]
外国人市民の防災支援受託事業収益	456,000	409,200	46,800
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	997,700	997,700	0
人材育成受託事業収益	349,800	350,625	▲825
多文化共生事例調査業務事業収益	99,000	0	99,000
外国人と地域住民の交流事業収益	399,960	0	399,960
外国人市民のための図書館ガイドツアー事業収益	99,660	0	99,660
ウクライナひまわりプロジェクト管理業務受託事業収益	99,000	605,000	▲506,000
受取補助金等	[71,394,530]	[70,368,000]	[1,026,530]
受取北九州市補助金	61,118,000	61,118,000	0
受取国庫助成金	10,000,000	9,000,000	1,000,000
受取助成金	276,530	250,000	26,530
受取寄附金	[5,067,754]	[7,052,000]	[▲1,984,246]
受取寄附金	44,000	52,000	▲8,000
受取寄附金振替額	5,023,754	7,000,000	▲1,976,246
雑収益	[793,739]	[1,055,969]	[▲262,230]
受取利息	5	42	▲37
その他雑収益	793,734	1,055,927	▲262,193
経常収益計	82,621,500	83,756,264	▲1,134,764
(2) 経常費用			
事業費	[80,342,072]	[82,516,471]	[▲2,174,399]
役員報酬	6,150,965	6,157,957	▲6,992
給料手当	34,942,772	35,448,198	▲505,426
臨時雇賃金	2,847,930	4,256,240	▲1,408,310
福利厚生費	8,433,397	8,288,939	144,458
材料費	3,722	25,000	▲21,278
奨学金	960,000	960,000	0
留学生等支援助成金	1,769,764	3,400,000	▲1,630,236
外国人材活躍支援助成金	3,242,000	3,448,159	▲206,159
旅費交通費	1,460,870	707,670	753,200
通信運搬費	2,297,152	2,274,285	22,867
減価償却費	559,385	559,385	0
消耗什器備品費	1,062,682	247,852	814,830
消耗品費	1,647,447	1,032,838	614,609
車両費	81,920	174,733	▲92,813
修繕費	22,000	0	22,000
印刷製本費	255,682	353,110	▲97,428
光熱水料費	2,284,514	2,004,536	279,978
リース料	845,835	845,835	0
使用料賃借料	4,235,625	3,867,189	368,436
災害保険料	76,957	111,612	▲34,655
報償費	3,797,960	2,979,370	818,590

租 税 公 課	4,000	4,000	0
支 払 負 担 金	250,000	250,000	0
委 託 費	2,284,100	4,270,828	▲1,986,728
函 書 費	188,325	163,333	24,992
食 糧 費	72,073	41,866	30,207
雑 費	564,995	643,536	▲78,541
管 理 費	[2,357,120]	[2,069,177]	[287,943]
役 員 報 酬	398,735	344,103	54,632
給 料 手 当	226,863	208,512	18,351
福 利 厚 生 費	65,797	128,067	▲62,270
通 信 運 搬 費	23,004	21,481	1,523
減 価 償 却 費	12,238	12,238	0
消 耗 品 費	95,947	54,359	41,588
印 刷 製 本 費	56,984	3,960	53,024
光 熱 水 費	120,237	102,808	17,429
リ ー ス 料	44,517	44,517	0
使 用 料 賃 借 料	523,996	514,473	9,523
会 議 費	1,230	0	1,230
支 払 負 担 金	100,000	100,000	0
報 償 費	15,000	0	15,000
委 託 費	594,000	462,000	132,000
交 際 費	11,186	11,359	▲173
雑 費	67,386	61,300	6,086
経 常 費 用 計	82,699,192	84,585,648	▲1,886,456
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	▲77,692	▲829,384	751,692
投 資 有 価 証 券 評 価 損 益 等	▲13,353,644	▲5,480,844	▲7,872,800
評 価 損 益 等 計	▲13,353,644	▲5,480,844	▲7,872,800
当 期 経 常 増 減 額	▲13,431,336	▲6,310,228	▲7,121,108
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
受 取 寄 附 金	[40,000]	[40,000]	[0]
受 取 寄 附 金 振 替 額	40,000	40,000	0
経 常 外 収 益 計	40,000	40,000	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	40,000	40,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	▲13,391,336	▲6,270,228	▲7,121,108
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	221,239,608	227,509,836	▲6,270,228
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	207,848,272	221,239,608	▲13,391,336
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 寄 附 金	[5,000,000]	[5,000,000]	[0]
受 取 民 間 寄 附 金	5,000,000	5,000,000	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[▲5,063,754]	[▲7,040,000]	[1,976,246]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	▲5,063,754	▲7,040,000	1,976,246
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	▲63,754	▲2,040,000	1,976,246
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	149,721,808	151,761,808	▲2,040,000
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	149,658,054	149,721,808	▲63,754
III 正 味 財 産 期 末 残 高	357,506,326	370,961,416	▲13,455,090

IV 令和5年度事業計画

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3年3月に策定した中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施することとしている。

中期計画の3年目となる令和5(2023)年度は、入国制限緩和により増加が予想される外国人市民との共生社会の実現に向けた取組みを引き続き推進していく。

具体的には、平成31(2019)年4月に設置した「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談を行う。また、外国人市民の言葉の壁を取り除くために、外国人市民への日本語教育を充実させ、同時に「やさしい日本語」の普及に取り組んでいく。

本事業計画に基づく予算は、昨年度に引き続き、国及び北九州市の補助金に加え、高城外国人材活躍支援資金(寄附金)等特定資産を活用するほか、賛助会費等の自主財源の確保に努める。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民の相談対応窓口の充実

ア 多文化共生ワンストップインフォメーションセンター

外国人市民が安心して相談できるよう支援体制の強化・充実に努める。

○八幡西区役所(コムシティ)及び小倉北区役所で、「外国語相談員」が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語は電話通訳やタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大23言語の相談に対応する。

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を中心に関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローを行う。

○「相談通訳コーディネーター」が行政・医療通訳ボランティアの育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援を行う。

○日本語教育に関する相談に、「日本語コーディネーター」が「外国語相談員」と連携して対応する。

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施する。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」 月1回

○弁護士による「法律相談」 月1回

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 随時

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、北九州市役所関係部局等で構成する「北九州外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の業務にフィ

ードバックすることにより、外国人支援事業の充実を目指す。

エ ウクライナ避難民相談窓口による相談・支援

令和4(2022)年3月に設置したウクライナ避難民相談窓口において、令和5年度も引き続き避難民の相談に対応するとともに、行政機関や支援機関と連携し、適切な情報提供を始めとした支援を行っていく。

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページやSNSを活用した広報

令和4(2022)年4月にリニューアルした協会のホームページ(日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応)及び、フェイスブックやインスタグラム等のSNSを活用し、効果的な情報発信を行う。

イ 北九州市災害多言語支援センターの運営

北九州市との協定に基づき、大規模災害発生時に「北九州市災害多言語支援センター」を開設し、外国人への情報提供、支援を必要とする外国人への相談対応等を行う。

(3) 日本語教育の推進とICT活用

ア 協会主催の日本語教室の運営等

令和元(2019)年度から受けている文化庁補助金を活用して配置した「総括コーディネーター」及び「日本語コーディネーター」からなる組織体制を維持し、国が定めた「地域における多文化共生推進プラン(令和2(2020)年改訂)」に沿った日本語教育を推進していく。

○令和3(2021)年10月に文化審議会国語分科会が策定した「日本語教育の参照枠」(いわば物差し)に沿った「生活者としての外国人」に対する日本語教育の推進のため、協会主催教室の内容を見直す。

○地域で暮らす外国人市民や児童生徒を対象としたオンライン授業を積極的に行う。

○北九州市が今後「北九州市国際政策推進大綱」の改訂と併せて策定する予定の「(仮称)北九州市多文化共生プラン及び日本語教育指針」の内容について、協会として具体的な検討を行う。

イ 地域日本語教室との連携・支援

地域で日本語教室を運営している13の教室・団体の活動経費の一部を助成するほか、日本語教室の学習支援者向け研修の実施等、各教室・団体に対し必要な支援を行う。

○地域日本語教室訪問やアンケート、意見交換会、研修の実施

○高城外国人材活躍支援資金(寄附金)による日本語教室助成金交付

ウ 空白地域(門司区)における新たな地域日本語教室開設支援

地域日本語教室がない門司区において、地域住民主導の地域日本語教室開設を支援する。

日本人と外国人市民がともに多文化コミュニケーション能力等を高められるような学習支援者向け準備講座を実施し、地域住民が継続して運営できるよう地域に根差した多文化共生の推進に努める。

エ 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を学ぶ外国人のモチベーションの向上、教室間の情報共有、相互理解の促進を目的として、「日本語スピーチコンテスト」を開催する。

○留学生を対象とした「留学生弁論大会」

○外国人市民を対象とした「おしゃべり発表会」

オ 「やさしい日本語」研修の実施

「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解促進のために、日本人に「やさしい日本語」の研修を行い、両者のコミュニケーション能力向上を目指す。

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 人材バンク登録の推進

行政・医療通訳など既存の市民ボランティアの登録・活用に加え、日本語教育や文化紹介の講師など多文化共生の担い手となる人材バンクへの登録を推進する。

併せて外国人人材の情報を収集・発掘し、外国人の視点からの魅力発信など、地域への貢献を促進することで活性化に繋げていく。

○翻訳サポーター・・・文書、パンフレット、HP など協会が依頼する翻訳を行う

○文化紹介サポーター・・・母国の文化・歴史などを紹介し国際理解推進のための講演、研修を行う

○日本語教育サポーター・・・日本語学習の指導を行う

○外国語相談サポーター・・・外国語相談窓口の対応、相談業務の一環としての通訳・翻訳を行う

(2) 留学生等に対する地元就職支援の拡充

ア 地元企業への就職等促進

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関（専門学校、大学）に進学する留学生、及び市内の専門学校、大学を卒業し、市内企業に就職する留学生に奨励金を支給する。

イ 関原北九州大連友好基金の活用

大連市内の大学、専門学校を卒業し、市内の大学等に在籍している留学生に対して奨学金を支給する。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 自主防災組織等への参画促進

国が実施している「災害時外国人支援情報コーディネーター」養成研修を活用して、外国人被災者のニーズとのマッチングを行うコーディネーターを育成するほか、防災講習会等を通して「外国人防災リーダー（仮）」の育成を検討する。

(2) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネット加盟団体相互の情報交換等の活動を事務局として支援する。

(イ) 民間団体の活動支援

国際化や多文化共生に取り組む民間団体の活動経費の一部を助成するほか、事業の共催、後援及び広報支援等を行う。

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として小・中・高等学校や市民センター等に派遣し、世界の文化や習慣等を紹介し、異文化理解を促進する。

(イ) 講師の派遣

協会の職員や外国語相談員、人材バンクの登録者等が講師となり、小・中学校や市民センター等で自国の生活や文化等を紹介し、参加者との交流により多文化共生の意識を醸成する。

ウ 多文化共生の地域づくり

ホストファミリーと留学生の交流を支援するとともに、学習会や研修会、国際交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の人材づくり・啓発を行う。

V 令和5年度予算

収支予算書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日 (単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,380]	[2,380]	[0]
基本財産受取利息	2,380	2,380	0
特定資産運用益	[0]	[10]	[▲10]
特定資産受取利息	0	10	▲10
受取会費	[600]	[600]	[0]
賛助会員受取会費	600	600	0
事業収益	[2,349]	[2,399]	[▲50]
コミュニティ通訳等派遣受託業務収益	999	999	0
共生社会の実現に向けた環境整備事業収益	600	600	0
外国人防災支援受託事業収益	400	450	▲50
多文化共生人材づくり受託事業収益	350	350	0
受取補助金等	[69,112]	[71,268]	[▲2,156]
受取北九州市補助金	60,362	61,118	▲756
受取国庫助成金	8,600	10,000	▲1,400
受取自治体国際化協会助成金	150	150	0
受取寄附金	[6,840]	[5,540]	[1,300]
受取寄附金	40	40	0
受取寄附金振替額	6,800	5,500	1,300
雑収	[251]	[1,103]	[▲852]
受取利息	1	0	1
その他雑収益	250	1,103	▲853
経常収益計	81,532	83,300	▲1,768
(2) 経常費用			
事業費	[80,390]	[82,236]	[▲1,846]
役員報酬	6,077	6,159	▲82
給料手当	34,579	35,661	▲1,082
臨時雇賃金	4,870	4,834	36
福利厚生費	8,306	8,352	▲46
会議費	5	261	▲256
旅費交通費	1,668	1,526	142
通信運搬費	1,498	1,628	▲130
減価償却費	551	506	45
消耗品費	533	831	▲298
材料費	50	47	3
車両費	82	95	▲13
印刷製本費	254	321	▲67
光熱水料費	2,052	1,425	627
リース料	1,222	638	584
使用料賃借料	4,910	4,566	344
災害保険料	135	175	▲40
報償費	3,200	3,839	▲639
奨学金	720	950	▲230

食糧費	65	45	20
支払負担金	350	350	0
留學生等支援助成金	6,800	7,300	▲500
図書費	20	70	▲50
委託費	1,976	2,115	▲139
雑費	467	542	▲75
管 理 費	[1,019]	[964]	[55]
役員報酬	445	449	▲4
給料	152	153	▲1
福利厚生費	51	24	27
会費	8	8	0
旅通費	0	1	▲1
通信費	14	16	▲2
減価償却費	29	27	2
消耗品費	5	6	▲1
光熱水料費	108	75	33
リース料	38	34	4
租税公課	11	13	▲2
委託費	83	83	0
雑費	75	75	0
経常費用計	81,409	83,200	▲1,791
当期経常増減額	123	100	23
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	123	100	23
一般正味財産期首残高	222,117	222,017	100
一般正味財産期末残高	222,240	222,117	123
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	5,000	5,000	0
一般正味財産振替額	▲6,800	▲5,000	▲1,800
当期指定正味財産増減額	▲1,800	▲500	▲1,300
指定正味財産期首残高	134,557	135,057	▲500
指定正味財産期末残高	132,757	134,557	▲1,800
III 正味財産期末残高	354,997	356,674	▲1,677

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和5年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	福原 公子	(公財)北九州国際交流協会理事長
専務理事	石井 佳子	(公財)北九州国際交流協会専務理事
理事	井上 龍子	八幡駅前開発(株)代表取締役社長
//	吉成 安恵	独立行政法人国際協力機構九州センター所長
//	廣澤 洋子	北九州国際交流団体ネットワーク顧問
監事	窪田 浩治	北九州市企画調整局国際部長
//	野中 宏之	(株)福岡銀行常務執行役員北九州本部長

2 市との特命随意契約の状況(令和4年度実績)

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約 相手	契約 方法	特命随意 契約の場合 その理由
コミュニティ通訳業務	998	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
令和4年度外国人市民の防災支援事業	456	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
グローバル人材育成事業	350	北九州ひとみらいプレイスを構成する各施設との連携事業の一環であり、プレイスに所属し、国際関連団体とのネットワークを持つ組織でないと実効性のある履行が期待できないため。	再委託なし				
令和4年度「外国人市民と地域住民との交流事業」業務委託	400	外国人に対する日本語教育について優れた知見と実績を有し、また、外国人の文化的背景を理解し対応できる事業者が(公財)北九州国際交流協会以外にないため。	再委託なし				
合計	2,204		合計				